

第3回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会総会（会議録）

会議の名称 第3回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会総会
開催日時 令和6年5月20日（月） 午後7時00分から
開催場所 岩村コミュニティセンター 大ホール
議題 ・承認事項
課題13 部活動に関すること
課題19 交流事業に関すること

公開非公開の別
出席者

公開
委員

山田 英明 安藤 善和 渡会 由美 原田 英明
若森 慶隆 杉山 淳 平林 道博 安藤 常雄
小木曾 真由美 三宅 勝彦 後藤 加代子 岡庭 寿則
近藤 晃幹 後藤 純一 小木曾 美香 阿部 秀樹
藤田 みのり 中垣 野歩 荻山 勝（オンライン）
小林 康予 片桐 宣伸 後藤 琢磨 中村 光代
成瀬 久志 永田 満依子 各務 美穂 加藤 淳
根崎 紀幸 園原 正明 近松 彩子
安藤 真由美（オンライン） 安藤 智和 片桐 慎一
小笹 寿里 松田 正 梶屋 明広 伊藤 桂子
松井 克仁 細江 幸次 長屋 真治 後藤 理恵
小栗 史也 三浦 祐揮 丸山 尚子
伊藤 亜弓（オンライン） 藤田 航平 成瀬 宰
中田 憲 梶本 草平（オンライン） 塚田 茜
井出 百合 大石 佐緒理 増田 尚子 伊藤 実千江
佐藤 美保 宮地 喜義

教育委員会

岡田 庄二 工藤 博也 鈴木 幸宣 丸山 頼彦
瀨瀬 千尋 青木 茂 郷田 賢 西尾 功
各務 恵美 古川 暉久 市川 太一 志津 博光
小木曾 健太 小栗 研 岩島 慶尚 小島 光太郎
小野 千恵実 長谷川 椋 勝 有紀 三宅 勝義

アドバイザー 福地 淳宏（オンライン）

司 会 皆さん、こんばんは。本日は大変お忙しい中、また、お仕事等でお疲れの中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから第3回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会総会を開会します。本日の総会については、恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会設置要綱第2条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、成立していることを報告いたします。

本日、リモート、Zoomでの参加者は4名となっています。リモート参加者の委員につきましては、採決の際はリモート上にて意思表示をお願いいたします。

それでは、配付のレジュメに沿って進めさせていただきたいと思います。

なお、当準備委員会のアドバイザーであります岐阜聖徳学園教授の福地先生にもリモートにて参加をいただいております。後ほどご意見等いただきたいと思いますので、併せてお願いいたします。

1 副委員長挨拶

司 会 初めに、西尾委員長より開会に当たってのお挨拶をいただくところですが、西尾委員長につきましては、けがにより本日は欠席となっておりますので、杉山副委員長よりご挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

副委員長 皆さん、こんばんは。副委員長の杉山です。西尾委員長欠席のため、代理を務めさせていただきます。本日の総会では、皆様にお諮りする承認事項が3件あります。この決定された案件となりますが、最終的にこの総会で承認いただく必要があります。皆様のご意見をいただければと思います。大変手短かではございますが、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

司 会 ありがとうございました。

2 教育長挨拶

司 会 続きまして、岡田教育長よりご挨拶を申し上げます。

教育長 皆さん、こんばんは。日頃は各専門部会で統合に関わって、いろいろなご審議等をしていただきながら、意見をまとめていただいて、幹事会、理事会、そして今日の総会という形で審議をしていただいているところでございます。

また、今日は先ほど副委員長さんからお話があったように、3つの事項についてご審議いただくということでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

司 会 それでは、議事に移ります。

恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会設置要綱第6条第1項の規定により、委員長が議長を務めることになっておりますが、本日は委員長が不在です。同要綱第5条第4項の規定により、副委員長に議長を行っていただきます。それでは、杉山副委員長のほうで議事進行をお願いします。

議 長 規定により、議長を務めます杉山です。スムーズな議事運営にご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

3 報告事項の専門部会等の審議状況について

議 長 報告事項の専門部会等の審議状況について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 審議状況の報告の前に、総会の役割について簡単にご説明させていただきます。申し訳ありませんが、着座にて説明させていただきます。

令和8年4月に恵那南地区の統合中学校を開校すべく、この委員会では23の課題に取り組んでいるところです。課題が多岐にわたることもあり、総務部会、環境整備・PTA・コミスク部会、教育活動・学校事務部会の3つの専門部会に分かれて検討していただいております。それぞれの課題について、各専門部会で案を作成し、幹事会に提出されます。幹事会では、出された提案を検討し、問題がなければ承認、理事会に提出します。また、幹事会には各専門部会の審議情報を共有し、所属する部会に情報を伝える役目もあります。理事会は、幹事会で承認された提案について決定します。理事会で決定された事項は、総会に諮られ、承認を受けた後に教育委員会に報告されます。

今回の総会においては、新中学校の名称について、校舎の増築・改修に関すること、学校図書に関することの3つについて諮られます。これらの事項は、それぞれの部会にて検討され、幹事会、理事会を経て、本日の総会の議事となっております。

準備委員会は、設置要綱第1条にて、統合について事務の円滑な推進を図るとともに、統合後の中学校における新しい学校づくりについて検討する委員会と定めています。統合の是非や方法、時期を検討する場ではありませんので、ご承知おき願います。また、会議では委員さんの貴重な時間をいただき検討をしていますので、議題となっている事項、今回は先に挙げた3つの議題についての発言を心がけていただくようお願いします。委員の皆さんは、それぞれの組織から選出され、組織の代表の立場で出席していただいておりますので、この委員会での情報については、それぞれの組織で共有していただきますようお願いいたします。

それでは、前回の総会以降の審議状況について説明させていただきます。資料は3ページになります。

5月20日に第2回の総会を行っております。部活動についてと、交流事業について審議いただいております。この日、総会終了後に総務部会、環境部会、教育部会の各専門部会も開催しており、課題整理シートの確認などを行っております。

6月6日に総務部会が開催され、新中学校の名称について部会での候補を決定されました。

6月18日には教育部会が開催され、教育部会が提示した学校図書館に関するコンセプト、設計アイデアが反映されていることを確認しています。

次に、6月20日に環境部会が開催され、校舎の増築・改修についてこれまで部会で作された設計アイデアが反映されていることを確認しております。これらの部会での検討を受け、6月27日に第3回の幹事会を開催し、新中学校の名称、校舎の増築・改修、学校図書館のデザインについて承認されました。

7月2日に第6回の理事会を開催し、先の3つの事項について審議され、決定をされております。

前回の総会以降の審議状況については、以上になります。

議長 ありがとうございます。

ただいまの報告事項について、事務局より説明がありました。ご質問等はございますか。

ないようですので、次の承認事項に移ります。

4 承認事項 課題ナンバー1、新中学校の名称について

議長 承認事項、課題ナンバー1、新中学校の名称について、総務部会より説明をお願いいたします。

総務部会長 よろしくをお願いいたします。新名称の学校名称の決定の経緯について、概要を申し上げます。

公募による学校名の決定という方針を総務部会として確認し、4月から5月にかけて公募を行いました。その結果、109件の応募がありました。その数字につきましては、一番多かったのが恵那南中学校、そして2番目が恵南中学校という結果でございます。その他の回答は、各1票ずつの応募が35件。それでこの109件全ての提案理由につきましては、総務部会で確認した上で、第1候補、恵那南中学校、第2候補、恵南中学校という形で提案させていただきました。その結果、最終的には第6回理事会7月2日開催におきまして、恵那南中学校を新名称とするという決定が行われました。詳しいことにつきましては、事務局のほうからまたお願いいたします。

事務局 詳細について簡単に説明させていただきます。

先ほど副会長からお話がありましたが、応募期間については4月1日から5月10日でやっております。応募資格がある方については、恵那市在住の方、もしくは対象となる5校の中学校の卒業の方という形で募集をしておりました。アンケートのほうですね、各振興事務所や市役所とかに直接投函してもらう方法、メール、郵送、インターネットでウェブ上の投票というような形で行いましたが、約半数、52%がインターネットでの投票という形で、残りが各振興事務所等に送られているという形になっています。

投票については、先ほど部会長からお話もあったとおり、恵那南中学校が一番多くて、41%の得票をしているという形で、2番目に多かったのが恵南中学校、次が南中学校ということで、4番目にあったのが知新館中学校、こちら2票の投票があります。残りの35票については各1票の投票という形で、それぞれどんな名前があったかは8ページにありますので、こちらで確認いただければと思います。

9ページのほうが、恵那南中学校と回答した理由ということで、バランスがよいであるとか、5校の統合の事情を考えると、無理に独自性を出さなくてもいいのではないかという意見や、全国大会に出場したとき、恵那市の中学校とすぐ分かったほうが良いというような意見が出ております。

先ほどお話があったように、部会のほうとしては、第1候補、第2候補、それぞれ票の多かったものを挙げて、幹事会、理事会のほうにかけさせていただいております。理事会のほうで第1候補の恵那南中学校という名称にということを選んでいただいております。また理事会の中で、選定の理由というのも必要じゃないかと、それぞれ皆さんが選んできてくれた理由を書いていただいておりますが、それをそのまま持つてくるのではなくて、理事会としてというか、この委員会として選んだ理由を書いたほうがいいのではないかというご意見をいただいておりますので、今まで総務部会や幹事会、理事会で出た意見などをもとに、12ページの下段のほうですね、こちらのほうに選定の理由を作らせていただきました。理由としましては、「恵那南地区の5つの町を1つの地域として捉え、生徒がこの地域に誇りと愛着を感じるとともに、地域、保護者、学校が共通の価値観のもとに、未来を担う子供たちを育てていく決意が込められた名称である。恵那の名が付くことで、市外の活動においても恵那市の代表であることを生徒が認識するとともに、恵那の名を広くアピールすることができる」ということを選定の理由として挙げさせていただいております。

以上が、総務部会からの報告になります。

議長 ありがとうございます。新中学校の名称について説明がありましたが、ご質問はございますか。よろしいですか。

委員 はい。

議長 どうぞ。

委員 教育委員会として、この恵那南中学校に関する名前というのは、こういうふうで決めましたというのは、選定の理由が、公募の中からこういう理由があったからという形ですかね。

事務局 先ほども説明させていただきましたが、公募の中の理由と、これまで部会、幹事会、理事会等が出てきた意見を元に考えさせていただいております。

委員 ありがとうございます。

議長 ほか、よろしいですか。はい、どうぞ。

委員 すいません。校名アンケートの結果という6ページのやつなんですけど、振興事務所の意見をそれぞれベースとして出すのはいいんですけど、市教育委員会の内側の人から公募があるのは入れないほうがよかったんじゃないでしょうか。

事務局 書き方が悪くて申し訳ないです。こちら応募先、方法というところに、市教育委員会数量9となっておりますが、こちら教育委員会の窓口へ投函箱を置いて、皆さんから公募を受けていたということで、市教育委員会の意見ではなく、一般の方が教育委員会へ応募に来て投票されていた数というふうにご認識いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

委員 ありがとうございます。

それともう一つ言いたいんですけど、恵那市の人口全員って、いくらぐらい、何人ぐらいいましたっけ。

事務局 4万7,000人よりちょっと下ぐらいです。

委員 で、出たのが109ですか。みんな無関心というか、興味がないという感じでしょうかね。

事務局 いろいろ、いろんなところでこういった校名のアンケートを全国的に、合併とか新たな学校ができるときは行われているんですが、東京都のほうで行われた、東京都のある区で行われたときでも200とか300とかいう数字だったようなデータを見たことがあります。決してよそのアンケートよりも割合的に低いということはないかなというふうには思っております。大体よそでも同じような形の投票率、応募してくる方の人数としては似たような感じになってくるのかなというふうな認識でおります。

委員 ありがとうございます。

それと、横の円グラフなんですけど、カラーにさせていただけるとすごく見やすいと思います。

事務局 ごめんなさい。もともとはスクリーンにあるようにカラーで作ってあるものをちょっと経費の節減も含めて、皆さんにお配りしたものは白黒で配ってしまいましたが、前に映っているものを見ていただければと思いますので、よろしく

お願いします。

委員 ありがとうございます。

議長 ほかによろしいですか。

委員 すみません。公募でこれだけ出てきた名前があるんですけど、これを例えば今、関わる保護者だったりとか子供たちに一度聞いてみるというアンケートの方法は全く取らないという形ですかね。

事務局 今のご意見ですね、部会のほうでもいただいたご意見になるかとは思いますが。そういった中で、今まで部会とかでも話し合いの中で、今の選定方法でいくという形で決めていただいたと私は認識しておりますので、この意見を今、ほかのアンケートを取ってさらに選んでいくということは現在考えておりません。

委員 ありがとうございます。そうすると当事者の方たちは、なぜこの名前になったかという理由が、公募で決まったからだなというふうに取り得ないと思うんですけど、いかがですか。

事務局 当事者。

委員 当事者というのは、私たち保護者だったりとか、子供たちだったりとか、関わってくる人たちが、こういう学校だからこの名前がいいよねという内容にはならないような気がするんですけど。

事務局 今まで学校の代表者等が含まれているこの委員会等で決めるという方法で決めてきております。部会のほうもそれでいくということで決めてきております。こちらに集まっていたいただいている皆さんは、各そういう保護者の皆さんの代表であったりするので、先ほど私、会の初めのときに、この会の内容を皆さんにお伝えいただきますようにというようなこととお話しさせていただきました。皆さんのほうからも周知していただきたいと思っておりますし、今回、選定の理由をつけております。こういった選定の理由なども含めて、広く周知ができる方法を準備室としても考えて実行してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

委員 ということは、ここに出ている準備委員の皆さんは、全員、ほかのその学校、それぞれの学校の保護者の意見の吸い上げが全てできているという形ですかね。

事務局 今、ごめんなさい、吸い上げの話ではなく、広めていただきたいというお話をさせていただいたと思っております。ですので、今回決定された場合に、また折を見て、各PTA等、保護者会等で周知をしていただきたいというお願ひをさせていただいたところになります。

委員 分かりました。じゃあ学校名については、もう聞かないでいいということですね。

事務局 これまで、そういった形で、部会等でもお話がされて決まってきたことだという事なので、聞く予定はございません。

委員 分かりました。

議長 ほかはよろしいですか。ないようですのでお諮りをします。
説明がありました。課題ナンバー1。

委員 すみません。余分なことでしょうか。ちょっと聞きたいです。
今日のこの会は、ユーチューブにも配信されているって本当ですか。

事務局 はい。音声のみ配信がされております。このことについては、すぐー等で周知させていただいているのと、ホームページで掲載してユーチューブで配信していることを周知させていただいているところになります。

委員 音声のみでよろしいです。やっぱり顔が映るとかそういうので、画像が映らないということで、前回うちの娘が、ママが出るということでユーチューブをすごく楽しみにしていたのに、画像が見にくい、音声だけ、見る気がうせたということで、やっぱり音声のみだけじゃちょっと物足りないのかなと、関心のある人が物足りないのかなと思っていますけど、どうでしょう。顔を映したくないからですか。

事務局 今のところ音声のみにさせていただいております。そういった顔のほうを映してほしいよという方もいるかと思えますし、逆に映していただきたくないという方もいるかと思えます。まずは映していただきたくないという方に配慮しております。これ、皆さんの中で、いやいや映したほうが良いということであれば映すことも可能なんですけど、会議自体そんなに動きがあるものではないので、内容を知るのには音声のみでいいのかなと私は思っておりますが、皆さんからまたそういった意見が多ければ、考慮はしていきたいと思えます。
あとですね、ごめんなさい。今、校名についての決を取るところでしたので、またその他の意見という形になりますので、ごめんなさい。まずは校名のほうよろしくお願ひしたいと思えます。

委員 そこは失礼します。

議長 よろしいですか。それではお諮りいたします。
説明がありました課題ナンバー1、新中学校の名称……

委員 すみません。校名のことはすごい皆さん考えて決められていて、私も恵那南高校でいいと思うんですけど、ただ、恵那南中学校だった、中学校でいいと思うんですけど、もちろんアンケートをしていたのも私も知っていますし、校名のアンケートをしているんですけど、いざ決まりましたってバーンって出るときに、バーンって出るよりは、5校が、5町村、せつかく5町村のいろんな保護者が、ここにいる保護者だけでもないはずなので、保護者はいるので、バーンって出ると何か勝手に決められた感は確かにちょっとあるかなと思っていて、どうせだったらみんなで作り上げていくというふうにするのであれば、例えば3つ、何々中、何々中学校、何々中学校、改めて、すぐーるとかキッズビュー

でアンケートをするくらいは、回答率は高くないかもしれないんですけど、全員の保護者が参加したような感じで、やっぱりいいものを作り上げていく、みんなで作ってるよという感じにはなるんじゃないかなというので、なんか、うん、強引にやってるなという感じがちょっと保護者の目からはあるかなという。その109名の意見よりは、もうちょっと幅広くついているんじゃないかなと。多分、恵那南中になるとは思うんですけど、ちょっと改めて、そういう保護者に、こんだけ今、案があるけどどうですかくらいだったら、まあ、取れてもそんなに時間はかからないんじゃないかなと思って、ちょっと読みながら感じておりました。

事務局 これまで部会等でも議論する中で、さらにもう1回アンケートをとという意見も出ておりました。ただ、そういった中で、例えば今、恵那南中で今決まってきたております。そのアンケート取ったときに、今度また違う名称が上がってきた。じゃあ2種類の1位ができてしまう。どうしたらいいのかということで、さらに混乱を招く可能性もありますし、現在ではいろいろ話し合いの中で、やっぱり恵那南中という名前がいいと、今、この保護者の代表さんも含んで話し合われているこの会議の中で、恵那南中学校がいいという意見でまとまっておりますので、皆さんの意見も聞きながら決めてきたところですので、何とかこの名前で行きたいなというところが、今、私の思っているところですが、さらに皆さんの意見を伺いたいとは思っております。もしあれでしたら。

事務局 すみません。今の質問にお答えいたします。

この校名については、準備委員会の部会の審議を経て、幹事会、理事会、本日の総会で最終的な承認を得るということになっております。ですので、この校名を決めるというのは、準備委員会の皆さん、この意思を尊重して決めるというのが、皆さんの役割になりますので、もう一度アンケートを取り直すとか、そういったことはやりませんので、お願いをいたします。以上です。

委員 投票みたいなのを3つでトリか、ピンみたいな感じで、1つを取るとかもやっぱり厳しいんです。

事務局 はい、それはできません。

議長 ほか、よろしいですか。

委員 今の内容の、ちょっと自分からの提案なんですけれども、これだけの人が関わってこの校名を決めたんだよということをアピールしたらどうかなというふうにごく今、聞いていて思ったんですけども、どういう経緯を踏んで、どれだけの人たちが議論して、この恵那南中学校に決めたんだよというのを何か伝える方法、この選定理由の中にもあるんですけども、この中にも入れてもいいんじゃないかなというのは思ったんです。今、おっしゃられたようなこと、アンケートを取って、部会を経て、いろいろな意見が出た中で、みんながいろ

いろもんで、ああじゃない、こうじゃないと言って、この校名に決まりましたよというのを、何だろう、もっとそういうところが見えないからみんなちょっとハテが出ちゃうみたいなの思っちゃったんですけども、そういう観点で、この選定理由のところを少し、この内容で全然問題ないと思うんですけども、少し肉づけしていただけたらなというふうに、自分は今、聞いていて思いました。

以上です。

事務局 ご意見ありがとうございます。こういった理由を書くときに、この後、ホームページであったり、それからチラシ等で皆さんにお知らせしていくことになろうかと思いますが、そんな中でこの決定の経緯のことにつきましても、今言われたことを参考にしながら取り入れていきたいというふうに考えています。

以上です。

議長 ほか、よろしいですか。ないようですので、課題ナンバー1、市中学校の名称について、賛成される方は挙手をお願いいたします。

はい、ありがとうございました。課題ナンバー1、新中学校の名称について、賛成多数により承認されました。

5 承認事項 課題ナンバー9、校舎の増築・改修に関することについて

議長 続きまして、次の議題に移ります。課題ナンバー9、校舎の増築・改修に関することについて、環境部会より説明をお願いいたします。

環境部会長 お願いします。私どもの部会のほうでは、およそ1年前から、まずは中学校、現行の山岡中学校がどんな状態であるのかということで、現状確認、把握というところを行って、校舎づくりのアイデアを出し合ってきました。

当然ですが、現行の校舎では生徒は収容しきれないということで、増築プラス現行の校舎の改修をしていくということで、こども園、あるいは小学校、中学校のPTA関係の方々が集まっていたいておるんですけども、それぞれの目線から見て、この新しい中学校に入る生徒の目線というか、そうした思いにどうしたらいいアイデアが出るんだろうということを念頭において、会議が進められてきました。

私事ですが、思いもしなかったようなアイデア、ああ、こんな考え方があるんだなというようなことに気づかれることが往々にしてありました。やはりこれは、全市民ではないですが、こうして選ばれてきた方々が、それを一生懸命考えていただいた結果というか、そうしたものの反映だということを思っております。その中でも、11月のところにあるんですけども、校舎づくりにおいて大切にするというか、こうした基本ですんだよという考え方を整理しております。それによって出していただいたアイデアを計画案として取りまとめたり

ます。そうして新しい年度になって、先月ですが、そうしたアイデアが実際の計画の中に、どのように反映されているのかということを確認いたしております。それが別紙であります8枚ものの図面のほうです。詳細につきましては、事務局のほうにお任せします。

事務局

では資料の15ページに戻っていただきまして、よろしく願いいたします。環境部会につきましては、校舎づくりにおける大切な考え方、増築校舎の配置計画案、皆様からのアイデア、提案事項、これらをまとめて設計に反映していただくという形を進めてきております。

まず15ページにあります校舎づくりにおける大切な考え方といたしましては、増築校舎、これ①です、広く使いやすい新しい環境の教室、そして②にあります増築する場所は学校の北東側に普通教室を配置するものとする。そして、グラウンドとか校舎周りにつきましては、⑤にあります緊急の生徒引渡しのとときでも、それに配慮した車両の通行動線を校舎周りで確保したいということ。あと校舎づくりです。⑥にあります交流スペース、⑦にあります相談室等のスペース、そして⑧教室は有効利用を図れるようにする、このようにまとめさせていただいております。

そして増築校舎の配置計画案、16ページになりますが、グラウンドの利用でも雨のときや夏の暑いとき、ここでも日陰利用等ができて、また生徒の引渡し、こういうときでも利用できる、幅広い活用ができる、1階の空間をピロティとする、こういう方法にしましょうよとまとめさせていただきました。そして17ページにありますように、アイデアは1から14あります。このような提案をさせていただいたところになります。

それでは手元の図面、または前面のスクリーンをご覧くださいければと思います。まずは配置図です。緑色で線が示してありますが、既存校舎の周りを車両が周回できるようにして、緊急時の生徒の引渡しのととき、お迎えのお車がそこを通行できるように確保すると、こういう考え方を示させていただきました。

次は、増築校舎1、2階の図面になります。木を使った明るい玄関、また屋外のデッキ、あと各階に人と荷物用のエレベーターを設置する、そしてみんなのトイレ、あと1階部分は空間利用ができるピロティ構造で2階に教室を配置するということとさせていただいております。

次は、校舎の3階屋根の図面になります。開放的な廊下、ここを広いスペースを取ることで、ワークスペース的な活用ができるというものになります。4メートル半ぐらいの、通常ですと、通常の倍以上の広さを確保させていただくものになります。そして教室は広く取り、屋根には太陽光パネル、そして3階は教室になりますけれども、画面にあるようにICTを活用した作りができるようにと計画しております。

次は、既存校舎の1階になります。校内の教育支援センター、安心して過ごせる居場所を作る、そして文化交流のスペースを整備したいというものです。

最後に、既存校舎の2階の図面になります。今ある図書館、この扇形のスペース部分が図書館ですけれども、ここはメディアスペースとして、この1階部分のランチルームも同じくメディアスペースとすることで、階段で行き来できる広い学習スペースを作ろうということにしております。このメディアスペースの詳細につきましては、今回のまた承認事項の次、学校図書に関することの中身になりますので、中身については、また後ほど改めて説明をさせていただきます。

このように、過ごしやすい校舎、環境負荷の低減、誰もが使いやすく、そして木のぬくもりを感じる、ICT環境を充実する、地域の歴史文化の交流、ということなど、アイデアを設計に反映させて魅力ある学校校舎作りとさせていただきます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

議長 ありがとうございます。ただいま校舎の増築・改修に関することについて説明がありましたが、ご質問等はございますか。

委員 本当によく皆さん、アイデア出されて考えられていただいているなと思ったんですが、ちょっと1点だけ、この内容とは関係ないかもしれないですけど、教えていただきたいことがあります。これ、工期ってどのように考えられているのかなと思ひまして、これだけの大規模な既存校舎の改修となりますと、現在通っている生徒さんたちへの配慮というのは、どのように配慮されているのかなというのをちょっと今見て思ったんですけれども、もし今後の課題なのか、今ある程度、想定があるのであれば教えていただきたいなというふうに思いました。以上です。

事務局 詳細につきましては、実際の工程というのは、実際の請負業者さんが決定してから詳細の工程というのが書かれるわけでございますが、今、概略ですね、こちらのほうで考えている概略を申し上げますと、先に増築の校舎をまずグラウンドに建設をいたします。それで建設しまして、生徒さんを一旦新しい増築のほうの校舎に移っていただきました後に、既存の校舎を改修するという計画でありまして、生徒さんの授業中にすぐ隣で大きな音を立てるとか、そういったことがないように配慮をしながら、建設の工事を進めていきたいというふうに考えておりますが、詳細につきましては、学校の先生方と実際に打ち合わせをしながら、請負業者さんも含めて工程会議をしながら進めてまいりたいというふうに考えております。よろしくお願いいたします。

委員 事務局 すみません、工期期間中とかは、専門教室とか使えなくなるということですか。一部そういったことがあるかもしれませんが、基本的には先生方の授業のカリ

キュラムと相談をさせていただきながら、工事については進めてまいりたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

委員 ありがとうございます。

議長 ほかよろしいですか。質問がないようですので、お諮りをします。説明がありました課題ナンバー9、校舎の増築・改修に関することについて、賛成される方は挙手をお願いいたします。

はい、ありがとうございました。課題ナンバー9、校舎の増築・改修に関することについては、賛成多数により承認されました。

6 承認事項 課題ナンバー21、学校図書に関するについて

議長 続きまして、次の議題に移ります。

課題ナンバー21、学校図書に関することについて、教育部会より説明をお願いいたします。

教育部会長 お手元の資料の一番後ろ、19、20と書いてあるところを見てください。

学校図書に関することで、どんな図書館にしたらいいのかというイメージのアンケートを取りました。一番多かったのが、落ち着き、くつろぎ、リラックスを感じる図書館にしてほしいという、イメージでした。ここにあるアンケートの結果をまとめたものが、その下の20と書いた意見の集計、まとめのところです。3つのコンセプトで図書館の設計を考えました。広いスペースが必要、利用しやすい環境作り、快適な空間作り。以上、3つのコンセプトを反映させた図書館が、別紙の資料の6、7とあります2階建ての図書館です。この図書館の仕様について、部会では、大変いい作りだったということで、承認を得ました。ただ、細かいところの使い方については、もう少し意見が必要であるということで、いくつもの意見を出していただきました。これについては、今後の話し合いや、今後の状況で、いろいろ修正ができるということで確認をしております。では詳細については、事務局のほうからお願いします。

事務局 今回の説明について補足をさせていただきます。

前の画面のほうで、6番、7番のところを示されておりますけれども、今回の図書館について、3つの大きな反映してほしいお願いをしたところ、2階スペースと1階スペースをつなげた形の図書館のエリアということで、設計のほうがいりました。広いスペースが必要であるということや、快適な空間作りというところにつながっているということで、このような設計の案について部会のほうとしては承認をいただいて、進めていただきたいということになりました。今、お話がありましたけれども、それ以外のところでミーティングエリアを入れるということや、プレゼンエリアをここに入れるというようなアイデアを同時に設計のほうでいただいたんですけれども、こういったところについて

は、まだこの後、学校がどのような活動をここでやるということを想定していくのかということでもありますとか、学校の登下校がどのようになるのかということとか詳細が決まってくる中で、改めて部会の中で検討をして進めていきたいということを思っております。今回、ここでご承認いただきたいのは、この2階建てのエリアをこの図書館のスペースとして、図書館だけではなくてメディアスペースということも含めた設計として進めていってほしいという、この部分についてご承認いただきたいということになります。

補足説明は、以上です。

議長 ありがとうございます。

ただいまの説明について、ご質問はございますか。

委員 私、理事会のほうも出させていただいたんですけど、理事会のほうで質問というよりもお願いなんですけど、図書館をどうやって使うのかというところは本当に皆さん考えていただきたいなと思うんですけど、例えば図書館が放課後しか使えないよというふうになると、遠くから来る上矢作とか串原の子たちは、なかなかその豪華なすごい立派な図書館が使えないということがあり得る可能性があるんですよ。バスで早く帰らなきゃいけないということになると、そういう、自分たちも使いたいなというときに使えなかったりすると思うので、授業の中にそういうすてきな図書館を使えるような授業のカリキュラムだったりとか、どのようなことでこういうスペースを使っていくのかというのを充実させていただけたらいいなと思います。よろしくをお願いします。

事務局 ご意見ありがとうございます。そういったこともまた部会のほうに反映していきたいと思えます。ありがとうございます。

議長 ほかよろしいですか。

質問がないようですので、お諮りをします。説明がありました課題ナンバー21、学校図書に関することについて賛成される場合は挙手をお願いいたします。ありがとうございます。課題ナンバー21、学校図書に関することについては賛成多数により承認されました。

それでは予定された議事は終了しましたので、司会を進行に戻したいと思います。スムーズな議事の運営にご協力をいただきありがとうございました。

司会 皆様、ありがとうございました。

今回の総会において承認いただきました3件につきましては、事務局のほうで次の事務手続のほうを進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

7 アドバイザーよりご意見

司会 総会の冒頭にご紹介いたしましたが、本日、アドバイザーとして聖徳学園教授の福地先生にリモートのほうで参加していただいておりますので、福地先生よ

りご意見等をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいいたします。切り替えまでしばらくお待ちください。

アドバイザー 福地でございます。こんばんは。マイクはこれで入ってますでしょうか。聞こえてますか。

司 会 聞こえております。

アドバイザー ありがとうございます。ずっとアドバイザーというか、そういうお役をいただいているにも関わらず、そちらになかなか出向くこともできずに、とても申し訳ないなと思って、参加できるときは参加させていただいて、皆さんのご議論というか、ご審議を聞かせていただいています。

かなり時間をかけてここまで来られて、とうとうというか、中学の名称とか、前回は校舎のこととか学校図書館のことは、私は理事会ですかね、12月のときにお話をお伺いしたので、校名のことについてお話を伺うのは今回初めてかなと思っていました。若干、音声上というか、音響上の情報がうまく自分の中に入り込まれて切れてないというか、把握し切れてないところがありますし、資料が手元になかったのでお話の中から推測したことしかちょっとお話できないですけれどもご了承ください。

やはり校名についてはご意見たくさん出ていました。これはいいことだなと思って聞かせてもらいました。どこの学校でもといますか、ほかの自治体といますか、他県もそうですけれども、校名、かなりこだわられますよね。自分もそうですけれども、何か大人になってからも、子供たちがどこの学校出身なんだときに、校歌とか、学校、校名というのは未来ですので分かりませんが、かなり記憶に残りますし、母校という言葉があるくらいで、マザーズクールというんですかね、自分の出身校の名前はやはり記憶に残るんですよ。その学校の校名に今回の経緯とといいますか、かなり時間をかけていろんなところでの議論を踏まえながら出来上がった学校として市民の皆さん、特に恵那市のこの地域に住んでいらっしゃる皆さんが本当に愛着を持って大事にさせていただける名称に皆さんでまとめていただいて、どこかの話で最初に教育委員会ですかね、議会ですかね、お決めいただくと思うんですけれども、決まっていくといいなということを思いながら聞かせていただきました。校名というのは本当に大切だなというふうに、皆さんがご意見を言われる姿を見ながら、改めて自分も認識をしたということです。これが1点目です。

あと2点目ですけれども、大きなこと2点だけ、今の校名のことについての認識がすごく深まったこと、もう1つは校舎の増改築のこととか学校図書館のことを出ていました。これもかなり前、私の手元にある12月の資料の中にもそのガイドラインというんですか、そういった方法で提案されて、それが具体化しているんだなということを聞かせていただいて思いました。やはり環境

ってすごく大事なんですよね。実は昨日、おとといですかね、新しくこの4月から義務教育学校として開校している大垣市の上石津学園に行ってきました。これリーフレットなんですけれども、見えますか、ぼかしが入っているのでごめんなさい、見えないですね。非常に新しい学校に入ると、これも上石津中学校、増改築されて、改修されて、いくらぐらいお金かけられたかちょっと校長先生、ご存じなかったのであれなんですけども、学生を連れて行ったんですけど、入った瞬間にやっぱり明るくて、何かすごく学校とは違う香りがするっていうか、木の香りとか、床の硬さっていうんですか、非常に地域素材なんでしょうかね、ふんだんに使われて、非常に温かい雰囲気したんですよね。校舎のいわゆるレイアウトとか設計もそうなんだけれども、何を基盤にしているか学校の環境を提供するかって大きくなって思ってた次第です。

昨日も学生の口から最初に入った印象のこととか、入って足を進めたときの心地よさとか、明るさとか色合いとか香りですよね。そういうことがすごく五感に訴えてくるっていうものがあるんだなっていうことを、今日も学生から教えてもらって、なるほどなって思いました。

それから校舎改築、増改築のことなんですけども、それぞれの学校のそれぞれの願いとか、描いたビジョンとか、像がありますので、一概には言えないんですけども、一つは今後、いわゆる学校の教育活動で今、学習指導要領が今度改定されるの5年くらいですかね。もう今、国の中で議論しているんですけども、そういった新たな教育のいわゆる段階に入っても引けを取らないというか、そこを見据えた何か未来を見た改築というんですか、そういうものになっていくといいなっていうことを思っています。恐らく教育長さん筆頭にそういったようなイメージは練っておられるんじゃないかと思えますけども、私、離れているので本当に無責任なことでも申し訳ないんですけど、いつぞやいただいたそのコンセプトというか、「恵那南地区統合中学校の姿」というこのペーパーがあるんですけども、いわゆるレイアウト、図式化されたものですよ。あれがいわゆる校舎の改築とか図書館の機能とか、校名とかが、あるいは行事とかがビルドアップしていくと同時に、それをリードするような感じで、ここからさらに何か具体化して、こういう子供を目指すんだということとか、あるいはこういう教育を未来に向けて展開していくんだということとか、つまり今のある組織を変えてでも一つの中学校に立ち上げることのメリットを、いわゆる人が増えるとかそういうことのみならず、新たな教育展開、これからやっていく教育を展開する。そのためにこういう学校の校舎改築になったりとか、図書館がこの位置に、先ほど提案がありましたけれども、こういうスペースがあるところで子供はこんな学びをさせてこんな学びができる環境を提供して、こんな力をつけていきたいんだといういわゆる教育のビジョンですよ。そういうのがコ

ンセプトというか、どんな教育がそこで展開されるのか、その中身についても一緒にビルドアップしながら描きが具体化していくともっといいだろうなということの思いながら聞かせていただきました。それは大きな2点目になります。たまたまおとといですかね、行ったので、その義務教育学校のことが話題になっちゃうんですけど、我々はかなり新たな教育展開されているんですよ。1年生から9年生までがいわゆる1つの学校になって、つまり小学校3、4年生と中学校2、3年が一緒になって教育をやっているみたいな、それはもう義務教育学校だからということですよ。今回は中学校なのでそういう形ではならないんですけども、これから本当に羽ばたいていく中学生たちにとっての貴重なそういう学習を展開する環境として、新たな1つのモデルといいますか、東濃地区、岐阜県の中でも新たな学び舎としてのメッセージがその中に入っていくと、やはり何か恵那市としても非常にプライドにつながっていくだろうし、決して何かこうネガティブな、いわゆる統廃合とかということではなくて、新たな学校づくりという視点で、今回のこの皆さんのご努力が実を結んでいくといいなということを思っています。

準備委員会の設置要綱の中にも新しい学校づくりと明記してあるので、そこに何か夢を持って進んでいけるといいだろうな、嬉しいなと思いながら拝見させていただきました。具体化した暁には、また私もどんな学校になるのか、非常に見ていきたいなということ、すごく聞いていて楽しみになってきました。本当に夜、遅いところお集まりしていただいて、遠隔で繋がっただけの私が偉そうなことを言って本当に申し訳なかったですけども、大きく期待申し上げますので、引き続きご議論のほうをお願いいたします。

以上でございます。

司 会 福地先生、大変貴重なお話、ありがとうございました。今後ともよろしく願いをいたします。

それでは、これをもちまして第3回恵那南地区統合中学校準備委員会総会は終了となります。本日は誠にありがとうございました。皆様、気をつけて……
(発言する者あり)

8 その他

司 会 その他。

委 員 その他のことで質問とかあるって言ってらっしゃいますよね。さっき質問は途切れたのは。その他のことで。

委 員 そうそう、その他ですよ。ユーチューブの件なんですけど、やっぱりやるからには、その場の雰囲気とか映像を、出したくない人、顔を出したくない人、それぞれいると思うんですけど、やっぱり音声だけでなく映像もあったほうが、

参加具合が分かるんじゃないでしょうか。

事務局 お答えさせていただきます。この件に関しましては、今年から新しく委員になられた方はご存じないかもしれませんが、昨年度の理事会の中で音声のみで配信していくということで皆さんご承認をいただいております。現在のところその方向で進めていきたいということを考えています。委員の中には顔を出したい、出たくないという、いろんなご意見がございますけれども、現在のところ、昨年決めたことで今後も進めていきたいという考えでございます。音声に関しましては当然、配信していきますし、またご希望がございましたZ o o m等での参加、こちらも可能であると思っておりますので、そういったところで発信していきたいということでございます。以上です。

委 員 前回の総会でもお願いしたんですけど、アーカイブは残していただけるか、いただけないかというところは決議されていますでしょうか。

事務局 アーカイブについては、これは残しませんが、議事録のほうが公開されますので、そちらのほうで代えさせていただきたいと思えます。

委 員 でしたら、議事録を結構早めに出していただきたいんですよ。なかなか議事録が上がってこないと、あと議事録が一言一句、全部記載されてこない部分もあるので、その部分については、アーカイブを残さないのであれば、議事録を全て残してください。

事務局 基本は議事録を全部テープ起こしをしておりますので、なるべく早くに皆さんに公開できるように努めてまいりたいと思えます。

委 員 アーカイブを残さない理由も教えていただいてもいいですか。

事務局 アーカイブを残したとしても、これは音声を一般的には公開するということは本当にありませんので、議事録があれば、会議の内容が分かればいいものなんです。ですので、この統合準備委員会もこの会議の内容については全て議事録を残すという形にしていきたいとは思えますし、今後もそういった形を取っていききたいと思いますのでよろしく願いをいたします。

委 員 あと先ほど福地先生からおっしゃっていた、学校のビジョンとか、新たな教育というところの視点で、福地先生にそのビジョンや新たな教育について相談に乗っていただいて、中に入っていただくということはできるのですかね。

事務局 福地先生にはこの準備委員会のアドバイザーという形でご助言いただいておりますので、こういった内容につきましてはこちらのほうで必要に応じて相談をさせていただきます。

委 員 私も保護者として、福地先生のような新たな学校をつくっていただいたりとか、ここだからしかこういう教育を受けられないというところを作ってもらえるのはすごく魅力的になると思うので、その中身の部分についてもうちょっと、私たちが行きたくなるとか、子供たちを通わせたいような学校の中

身を作って行ってほしいと思います。よろしくお願いします。

司 会 それでは全ての議題が終わりましたので、これにて第3回恵那南地区統合中学校……。

委 員 すいません、また。これもちょっと提案なんですけど、今、ユーチューブ配信の話があったんですけども、できません、できませんというのもちょっとになっているように聞いていたんですけど、ちょっと自分からの提案なんですけど、もし可能であればなんですけれども、資料とかを、自分もユーチューブ、ほかの部会のやつを聞いているんですけども、何について、音声を聞けば分かると言われるんですけども、全く分からないんですよ。なので、例えばですけども資料を画像で添付するとかっていうのをできる、できないは、ちょっと検討だけしていただけたらなというふうに、今、聞いていて思ったので、ちょっと提案という形でお願いさせていただきたいと思いました。

あともう1点、ちょっと今、先生のご発言を聞いてて思って。福地先生に資料が行ってないってどういうことなのってちょっと思ったので、その辺はちょっと、そういう面からもユーチューブとかで配信するんだったら、そういう議論されている内容の資料とか、今回でしたらそこに映しますパワポの資料とかを別にユーチューブで画像として付けることも可能かなというふうに思ったので、ちょっと検討できる、できない別として検討していただけたらと思って発言させていただきました。

以上です。

事務局 はい、すいません。資料の件についてなんですけど、ごめんなさい、皆さんに送ったとき一緒に送ったと私のほうは認識していたんですけど、ちょっと手違いで送れていない可能性があったかもしれないので、再度、また確認させていただきたいと思います。

委 員 すいません、失礼します。やっぱり議事録というか、そういうのだけだと、やっぱり目の悪い人とか耳の聞こえない人とかはやっぱり不便なのかなあなんて思いますけど、ほかの方法でも考えられますか。ほかの方法で、多くの障害がある方、一般的に普通の方が多いと思うんですけど、老人の方とか、ちょっと耳が悪かったり、目が悪かったり、見にくかったり、聞きにくくなったり、そういう人もいると思うんです。そういう人も分かるような資料作りというのをこれからもちょっとやってほしいかなと思います。

あと前も言ったと思うんですけど、やっぱり福地先生のお話で聞いたんですけど、やっぱりコンセプトが定まってないと思うんです。やっぱり立派な校舎、すごく魅力ある校舎だと思えますけど、コンセプト、世界に羽ばたく子供をつくるとか、何々ができる教育にするとか、そういうふうにしてもっていかないと、やっぱりこちらとしても通わせたいと思えないというか、やっぱり大きく

銘を打ったテーマがあればいいと思うけど、今の時代ではないんですかね。

事務局 これも昨年の総会で出させていただいておりますが、新しい方はご存じないかもしれませんので、改めて簡単に説明させていただきます。本日はこの議題ではございませんので簡単に言うと、コンセプト自体は作っております。それを今後、教育活動の中でどう膨らませていくかということは、新しい学校の校長先生になられる方、学校と教育委員会とでこれからつくっていく。いわゆる学校はできてゴールではなく、できてからがスタートになるので、そういったところも学校とともに一緒につくっていくということになるかと思っておりますのでよろしくお願いします。以上です。

委員 すみません。新人なので申し訳ございません。そこまでは分からなかったです。そういうことで、もともとあるのであれば、やっぱりその資料に大きくテーマを毎回、冊子に、表表紙に書いてみたらどうでしょうか。

事務局 ご提案として受けさせていただきます。

委員 ありがとうございます。よろしくお願いします。

司会 それでは皆さん、本当にありがとうございました。

これをおもちまして終了といたします。皆様、お気を付けてお帰りください。どうもありがとうございました。